

たかけい学報

キャンパスの交差点

75

Bulletin of Takasaki City University of Economics



2006 Summer

高経グラ



フレッシュマンキャンプ
(主催：体育会)



課外活動（応援団）

ファイティーン



ワークショップ
(地域政策ゼミナール協議会)



新入生歓迎企画
(三扇祭実行委員会)



第33回鶴鷹祭
(於：高崎経済大学)



高経グラフィティ2



第33回鶴鷹祭
(於：高崎経済大学)



第33回鶴鷹祭試合結果

平成18年6月17・26・27日の3日間にかけて、第33回鶴鷹祭が今回は高崎経済大学で開催されました。昨年の雪辱を果すべく、各部とも熱戦を展開し、総合戦績14勝6敗の大勝で、今年は高崎経済大学が総合優勝の栄冠を獲得いたしました。

種目	高経大	都留大	MVP	敢闘賞
空手道	○	4-1	● 國井 啓史	浦井 政高
弓道	○	91-84	● 柴野 伸郎	花木 峻平
剣道	●	2-4	○ 熊谷 拓郎	藪田 航
硬式庭球(男)	○	8-1	● 鈴木 一樹	宮崎 憲太郎
硬式庭球(女)	○	7-0	● 丸山 紗恵子	栗原 珠美
サッカー	●	1-2	○ 畠山 啓吾	井原 健太
準硬式野球	○	8-4	● 須山 俊介	金子 綱基
ソフトテニス(男)	○	3-2	● 天満 雄介	宇田 寛之
ソフトテニス(女)	●	1-2	○ 居積 真由美	松原 美咲
ソフトボール	○	10-0	● 望月 正敏	熊谷 勇一
卓球(男)	○	3-1	● 川田 幸正	高橋 和也
卓球(女)	○	3-0	● 安部 真実	近藤 美幸
バスケットボール(男)	○	61-57	● 竹内 靖二	高塚 淳
バスケットボール(女)	●	64-80	○ 羽田 恭子	山田 悦子
バドミントン(男)	○	4-1	● 富 毅	倉持 淳
バドミントン(女)	○	3-2	● 若生 佳菜子	畠山 菜々美
バレーボール(男)	○	3-0	● 坂口 智一	井上 宏
バレーボール(女)	●	1-2	○ 小林 美和	佐藤 順子
ラグビー	○	57-0	● 山田 亮太	櫻井 康規
陸上競技	●	28.5-32.5	○ 塩谷 尚之	吉田 禎
総合戦績		14-6	※	は高経大の選手

もくじ

グラビア 「高経グラフィティ」
第33回鶴鷹祭試合結果報告

・巻頭言 学長 木暮 至

・観光政策学科について 観光政策学科長 津久井良充

学生生活

・平成18年度入学式
・高崎経済大学に入学して 堀内 隆広
・新入生歓迎会を終えて 小林 政善
・新任教員紹介
・平成18年度高崎経済大学役員
・ソフトボール全日本学生選抜に選ばれて 佐土原 剛
・地方別就職状況
・業種別就職状況

シリーズ

・卒業生訪問 経済：峰岸 文雄（昭和45年3月卒）
地域：市川 祐喜（平成12年3月卒）
・クラブ紹介 陸上競技部・旅行研究会
・ふるさとを語る 国内編：箱崎 貴匡（福島県）
国外編：蔣 雄軍（中国・湖南省）
・姉妹校留学 L T U 短期留学に参加して

大学から

・人事関係記事 教員・事務局
・平成18年度公開講座
・平成18年度入試実施状況
・同窓会事務局から
・大学広報

『学長に就任して』



学長 商学博士 木暮 至

平成 18 年 1 月 18 日付け、第 24 代学長に就任した。本学勤務は昭和 46 年から満 35 年が経つ。この間、ゼミ生 800 名、講義は、経営組織論、経営管理論、経営学総論など、常に大きなクラス 2 つの担当だったから、受講者の延べ人数で言えば、3 万人に及び、本学の卒業生 2 万 3 千人を遥かに超えることになった。

本年 4 月からは講義を全て退くことになったが、これほど多くの学生達に「どれだけ満足を与えられたらどうか」、「いや、自分で満足のいった講義が何回あったらどうか」、内心忸怩たるものがある。と言うのは、私は「講義ノートは作らず、日々、受講者の顔を見ながら語りかける」のをモットーにし、それがマンネリ授業を避ける特効薬だと、変な「思い込みの方針」に固執してきたからである。受講生に乗せられたときもある。自分の体調の善し悪しもある。だが、講義は毎日違う筈である。よく言えば「常に生きた講義」に心掛けたことになるが、要するに、私の講義はその日の「出たとこ勝負」なのである。

多くの学生に、マネジメントを語り、経営のダイナミズムを語り、理念や意思決定、モチベーションやリーダーシップなどを語ってきた。経営学の研究を志して 40 年以上経つが、今度は自分がその実践の場に立つことになった。講義では自分の誤りに気付けば、次回に訂正し「ごめんなさい」ですんだが、大学経営はそうは行かない。熟慮に熟慮を重ねて誤りなき方針を貫徹することがトップの役割と心得ている。「大学経営」問題は、公大協（全国 73 公立大学で構成）でも最重要課題として登場してきた。この面でも、公立大学のトップランナーとして指導的な提言ができるようしっかり研究してみたい。

また、最近「改革」ばかりで、大学改革や学部改革でも、「学生のために」「学生の立場になって」「学生のことを考えて」などの言葉が飛び交っている。私も 10 数年前から、学部長、学生部長として公大協の諸会議に参加するたびに、その言葉の乱発に唾然とし、違和感すら覚えてきたものである。組織論を専攻する者からすればあまりに当然であって、口にすることすら面映ゆいことであるからだ。「病院は患者の為に作られ」「組合は組合員のために作った」のは当然であるように、「学校も学生(生徒)のために作られた」「国家は国民の為にある」のは始めから自明である。しかし、組織体というのは、一度生まれて動き出すと、今度はその維持そのものが目的となり、大切な構成員を押し殺してしまうことさえある。だから、悲しいことではあるが、人間は最初の目的を常に繰り返していないと忘れてしまうのかもしれない。私も「学生のために」を恥ずかしげもなく頻繁に使うことをお許し願いたい。

ところで、数十年にわたる友人から「お祝い」ということで漆塗りの美しい書類箱を頂いた。本学は 50 年の歴史を積み重ね、今や、公立大学のトップランナーとして、社会的にも極めて高い評価を与えられてきているが、その課題たるやまだまだ多く山積している。そうした諸課題をこの宝の箱に入れて身近なデスクの上に置き、解決を急ぐもの、すぐのできるもの、時間のかかるもの等々を勘案しながら、一つ一つ解決に向けて全力で取り組もうとしている毎日なのである。



観光教育がおもしろい

地域政策学部観光政策学科長 津久井 良 充

いまや、現代観光は社会に大きな影響をおよぼすものとなっています。2003年の「観光立国懇談会」報告書によると、21世紀に入るとともに「観光」は昔のような物見遊山ではなくなり、また、いわゆるバブル好況期に建てられた大型レジャー施設にみられるような娯楽や気晴提供の場でもなくなりました。報告書には、「観光は、知的文化産業であり、人間的な産業である」と位置づけられています。

そのうえで日本が観光立国となるために、高等教育機関における観光関連の学部等の新設を報告書は提言しています。これをうけて政府は、観光立国構想の一環として、国立大学への観光学部・学科の設置を促進し、2005年度に琉球大学、山口大学、そして2006年度には本大学地域政策学部にも観光政策学科が発足することになりました。

このように本学科は、国の観光への期待の高まりのなかで、高崎市および群馬の観光資源を生かしながら、従来とは異なる観光の新たな可能性を開こうとしています。すなわち、これまで私立大学を中心に行われてきた観光教育とは違って、本学科は、ただ観光発展のための人材を育成するのではなく、地域政策学部にも所属する3学科のひとつとして、他の学科と手をたずさえて地域の活性化や地域社会の発展に寄与しようとしています。

新学科の教育内容についてここで簡単な説明を試みてみましょう。まず観光政策学科は地域と外部をつなぐ架け橋となる人材育成を目指しています。高崎市および群馬県の美しい自然や豊かな地域文化という観光資源を最大限に生かすために、学生はグローバル化時代にふさわしい国際的な視野を身につけることを期待されます。新学科には観光政策、観光経営、国際観光・国際文化、地域開発という4領域の専門分野が設けられ、学生はそのなかのひとつを専攻します。そこで観光に関する理論・知識を習得し、あわせて実習や調査活動などを通して地域の実情にふれながら観光による地域振興を実践します。こうした教育課程の下で学ぶことにより、学生達はやがて将来に観光・交流を通して地域づくりを推進する地域リーダーとしての能力を身につけていきます。

すでに日本各地において、観光政策は農村や都市の活性化、中心市街地活性化、地域産業の発展、環境保全や国際交流の推進など、地域づくりのひとつの核となっています。政府の観光政策審議会はすでに10年以上前に「すべての人には旅をする権利がある」と謳い、高齢者や障害者の旅の権利をアピールしました。また観光の国際化、交流の国際化も急速に進んでいます。こうした時代状況の推移の中で、観光政策学科は地域社会発展に貢献することを目指しています。

平成 18 年度入学式

平成 18 年 4 月 8 日 於：群馬音楽センター

平成 18 年度の入学式が、4 月 8 日（土）高崎市役所庁舎近くの群馬音楽センターで挙行されました。

式典においては、木暮学長の入学告示や、高崎市長をはじめとする来賓の方々より祝辞をいただき、盛大に執り行われました。

平成 18 年度入学状況（学部）

【入学者数】

（ ）内は女子で内数

入試区分	経済学部 (定員：480人) 一般380人・推薦100人	地域政策学部(定員:455人) 一般300人・推薦95人 編転入35人 私費外国人留学生25人	合計 (定員:935人)
一般(推薦含む)	494(120)	462(167)	956(287)
私費外国人留学生	5 (2)	25 (15)	30 (17)
社会人	1 (0)	1 (1)	2 (1)
2年次編入・転入	2 (0)	9 (4)	11 (4)
3年次編入・転入		24 (20)	24 (20)
計	502(122)	521(207)	1,023(329)

平成 18 年度入学状況（大学院）

【入学者数】

（ ）内は女子で内数

入試区分	経済・経営研究科		地域政策研究科		合計 (定員:49人)
	博士前期 (定員:20人) 一般10人 社会人10人	博士後期 (定員:4人)	博士前期 (定員:20人) 一般7人・社会人10人 私費外国人留学生3人	博士後期 (定員:5人)	
一般	3 (2)		8 (2)	2 (0)	13 (4)
社会人	3 (1)	1 (0)	6 (2)	5 (1)	15 (4)
私費外国人留学生	10 (4)		7 (4)		17 (8)
計	16 (7)	1 (0)	21 (8)	7 (1)	45 (16)

博士後期課程は、一般・社会人等の入試区分はなし。



高崎経済大学に入学して

地域政策学部1年 堀内隆広さん

私は、4月の上旬に初めて高崎経済大学にやってきました。そのときは、故郷を離れ一人暮らしをしていくことに対する不安と寂しさ、そしてこれからの大学生活に対する期待と楽しみでいっぱいでした。そんな私の目に最初にとび込んできたのは、木々の緑と調和のとれた附属図書館と美しい噴水でした。敷地内を10分ぐらい歩いているうちに、いつの間にかさっきの不安と寂しさは消え、これからここで大学生活を送れるんだという喜びと、親元を離れ自立していくんだという楽しみでいっぱいになっていました。

4月中旬になり、いよいよ本格的に新しい生活が始まりました。大学の制度は高校のときとはまったく異なり、最初は戸惑ってばかりいました。また、なかなか友達もできず寂しい毎日を送っていました。しかし、4月が終わるころには大学の制度にも慣れ、友達もたくさんでき、楽しい毎日を送れるようになっていました。時間の経過にともない、気づいたことが1つあります。それは、何事も自分から積極的に行動しなければ何も得ることができないということです。今までは、自分から行動しなくても誰かが面倒をみてくれました。しかし、これからは自分から行動しなければ問題は解決しませんし、楽しく毎日を過ごすことはできません。将来、心に残るような大学生活を送れるよう自分から積極的に行動したいと思います。

私はまだ、将来の自分というものを具体的に想像することができません。正直言うと、漠然とした不安ばかりです。自分がどのような生き方を選択するかは、これからの大学生活にかかっていると思います。希望に満ち溢れた将来を切り開けるよういろいろなことに挑戦し、充実した高崎経済大学での時間を過ごしたいです。



新入生歓迎会を終えて

三扇祭実行委員会委員長 小林 政 善さん
地域政策学部3年

私共三扇祭実行委員会では、皆様からの多大なる御支援、御協力を
受け、秋の学園祭の他に毎年新入生歓迎企画を行っております。今年
度は新入生が大学に慣れてもらうと共に、他の新入生とも交流を深め
てもらおう事を目標として活動してきました。

活動の1つ目として、新入生全員を対象としたガイダンスブックを作成しました。これに
は、新入生が大学に慣れ親しんでもらうための情報をはじめ、講義や部活・サークルの紹介
に至る大学生活全般の情報を取り上げています。また、今年は在校生や先輩としての生活の
アドバイス、群馬の紹介等様々な視点からの情報も新たに掲載しました。

また、4月10日に部活・サークル説明会を開催しました。これは、個々の部活・サークル
がブースを設け、新入生に活動を紹介する場として企画しました。この企画では今年
は72団体の皆さんが参加しました。途中の雨にも関わらず、参加団体の先輩たちが新入生に積
極的に声をかける姿が多くみられ、新入生にとっても部活・サークルを知る良い
きっかけになったのではないのでしょうか。

さらに、4月20日には全学挙げての行事である新入生歓迎会を行いました。この日は、
新入生への学生証交付後、時間差で二つの企画を執り行い、両企画で総勢約600人の新入生
に参加して頂く事が出来ました。最初に行った新入生歓迎講演会では、吉本興業でチーフプ
ロデューサーとしてご活躍中の竹中功氏と若手お笑い芸人のオオカミ少年をお迎えし、「笑
いを学ぶ」をテーマに60分間の講演を行って頂きました。講演会では、講演だけに留まらず、
参加した学生との質疑応答の場も設けたため、積極的に質問する新入生が数多く見られまし
た。その後には、生協2・3階を使用させて頂き、立食パーティーを行いました。今年の立
食パーティーでは、新入生同士の交流をより深いものにするため、レクリエーション性を重
視し、ビンゴやクイズなどの様々な参加型の企画を行いました。多くの新入生が交流をはか
り、時間の許すかぎり語り合っていたのが今でも強く印象に残っています。

最後の企画として、4月29・30日に新入生交流合宿を行いました。この企画は実行委員
会としても初めての企画で、私たちも自身も新入生と共に一からのスタートでしたが、60
名を越す多くの新入生に参加して頂き、新入生同士が様々な活動を通して交流し合い、親交
を深めていた事は、企画した我々実行委員としても嬉しい限りでした。

今年の新入生歓迎企画を行うにあたり、大学側からも多大なる御協力を頂きました。また
同時に、体育会、応援団、文化サークル協議会、地域・経済両学部ゼミナール協議会、留学
生交流会の皆様にもご協力を頂きました。この場を借りて皆様に厚くお礼申し上げます。ま
た、今後とも実行委員会の活動に御指導、御支援の程宜しくお願い致します。

● ● ● ● 新任教員紹介 ● ● ● ●



経済学部教授
田中 久夫

中央大（商・会計）卒業、明治大院（経営）修了、横浜市大院（経営）修了・博士（経営学）・前職作新学院大学教授・会計学専攻・会計学原理、原価計算論担当・抱負…本学の近隣には多くの温泉地とゴルフ場があり、研究に疲れた時には格好の息抜きが出来そうです。この機会に温泉旅館会計やゴルフビジネス会計でも構想します。

早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学・経営学専攻・企業と社会、経営戦略論・経営学総論、企業論、コーポレート・ガバナンス等担当・抱負…学生の皆さんにとっての人生のスタート地点ともいえる大学において、目標達成のための基礎力づくりをお手伝いしたいと考えています。



経済学部助教授
潜道 文子



経済学部講師
大石 恵

最終学歴：京都大学大学院経済学研究科修了 専門分野：中国経済論、中国経済史 担当科目：中国経済論ほか 抱負：学ぶことの楽しさ、厳しさを学生のみなさんに伝えられたらと思っています。よろしくお願いします。

福岡大学卒業・慶應義塾大学大学院（経済学専攻）単位取得退学・公共経済学、経済変動論担当・抱負…四国→東北→四国→九州→関東と各地を彷徨ってきた私にとって、全国から学生の集まる高崎経済大学は魅力的な場所です。全国から学生が集まるというこの大学の特性を大切にしていきたいと考えています。



経済学部講師
岡田 知之



地域政策学部教授
白井 義男

前職千葉経済大学大学教授・経営管理専攻・サービスマネジメント&マーケティング・観光経営、観光マーケティング担当・抱負…成長産業であるサービス分野における有能な人材を育成したい。

東京大学法学部卒業・運輸省、JR東日本、国土庁、国土交通省、気象庁等の中央官庁等で行政実務を30余年担当後、(社)日本観光協会理事長・観光政策論、交通論・抱負…地域の個性の発揮である観光に関し、政策論からの研究を行うことにより人材を育成する。



地域政策学部教授
寺前 秀一

早稲田大学政治経済学部卒業、埼玉大学大学院政策科学研究科修士課程修了、大阪商業大学大学院地域政策学研究科博士後期課程修了・博士(地域政策学)、1982年から24年間、大阪府で行政実務を担当、産業政策論、中小企業論、地域経済論・抱負…実学を重んじる高崎経済大学に、行政実務の経験を活かして、少しでもお役に立てるよう頑張ります。



地域政策学部助教授
河藤 佳彦

慶應義塾大学経済学部卒業、同大学院法学研究科博士課程修了、博士(法学)。常磐大学助教授・政治学、公共政策学専攻・地域政策論、公共政策論担当・抱負…地域政策、公共政策の研究を通じて、自ら地域社会の発展に貢献すると同時に、人材の育成に努めたい。



地域政策学部助教授
佐藤 公俊



地域政策学部講師
伊佐 良次

専攻：環境経済学、観光経済学 担当科目：観光産業論
抱負…学生が観光の経済的側面を論理と経験に基づいて理解できるために、地域政策としての観光政策を研究して、教育に反映したい。その積み重ねと政策提言で、高崎市はもちろん他地域にも貢献したい。

大阪市立大学卒業、神戸大学大学院文化学研究科博士課程修了、博士（学術）、前職関西学院大学 COE プログラム専任研究員・観光社会学、都市社会学、社会調査・抱負…社会学の立場から高崎の地域政策に貢献し、学生の教育指導に尽力したいと思っています。



地域政策学部講師
今井 信雄



地域政策学部講師
片岡 美喜

愛媛大学農学部卒業、同博士課程修了、農学博士・専門は「農業と環境に関する教育的取組」、「グリーンツーリズム・エコツーリズム論」・担当科目は「観光資源論」・抱負…学生本位の教育、現場重視の研究に努めることを信条に成長してゆきたいです。また、積極的に高崎地域に関わりたいです。

東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程中退・京都大学人文科学研究所社会人類学講座助手・博士（学術）・社会人類学・比較文化論ほか・抱負…経済や情報のグローバル化に抗し、多様化・個別化する「文化」。学生の皆さんとともに「文化」の行方を考えていきたいと思います。



地域政策学部講師
小牧 幸代



地域政策学部講師
高橋 美穂子

高崎経済大学卒業、東北大学大学院経済学研究科（博士）・会計学専攻・日本語論文指導、会計学の基礎、経営学担当・抱負…地域政策について会計的視点から学生の皆さんと共に考えていきたいと思っています。

一橋大学経済学卒業、一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。＜担当科目＞社会起業論、NPO論、コミュニティビジネス論、ベンチャービジネス論、日本語論文指導。＜抱負＞新しい学科・新しい学生たちと共に新たな学問領域の開拓に邁進していきたいと思っています。



地域政策学部講師
土肥 将敦



地域政策学部講師
中村 匡克

法政大学大学院社会科学研究所（経済学修士）、明海大学経済学部専任講師・地方行政、経済政策、公共選択・地方財政論、財政論、経済政策論等・抱負…地方分権によって都市の役割が大きくなる中、高崎経済大学で研究・教育活動を遅れることをうれしく思います。地域と大学の発展のためにお役に立てればと考えています。

一橋大学大学院商学研究科博士課程修了・博士（商学）・専門：交通経済学、ロジスティクス・担当科目：交通論、日本語論文指導・抱負…ヒトとモノがスムーズに動いてこそ、地域の発展、観光の振興が実現します。そんな社会づくりに何が必要か、学生のみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。



地域政策学部講師
味水 佑毅



地域政策学部講師
吉原 美那子

東北大学大学院教育学研究科博士課程単位取得、前東北大学高等教育開発推進センター助手・教育制度、教育政策・教育と社会、教職特別演習、教育実習・抱負…国家の教育政策が転換期を迎えている一方で問われる地方の教育政策の理論と実践を、行政と学校、地域住民との連携という観点から追求していきたい。

平成18年度高崎経済大学役員

学 長 木 暮 至

《部局長》

経済学部長	石 井 伸 男
地域政策学部長	大 宮 登
経済・経営研究科長	石 川 弘 道
地域政策研究科長	吉 田 俊 幸
学生部長	加 藤 一 郎
附属図書館長	和 泉 清 司
附属情報センター所長	山 本 喜 則
附属産業研究所長	北 條 勇 作
附属地域政策研究センター所長	原 田 寛 明
事務局長	石 塚 正 春

《評議員》

経済学部	中 村 忠
経済学部	三 浦 達 司
経済学部	矢 野 修 一
地域政策学部	塩 田 咲 子
地域政策学部	千 葉 貢
地域政策学部	津 川 康 雄

※学長及び部局長は、評議員を兼ねる。

《学科長》

経済学部経済学科長	富 澤 一 弘
経済学部経営学科長	中 村 彰 良
地域政策学部地域政策学科長	大 河 原 眞 美
地域政策学部地域づくり学科長	村 山 元 展
地域政策学部観光政策学科長	津 久 井 良 充

《各委員会委員長》

国際交流委員長	佐々木 茂
広報委員長	河 辺 俊 雄
経済学部学生委員長	池 野 正 晴
地域政策学部学生委員長	細 井 雅 生
経済学部就職委員長	大 島 登 志 彦
地域政策学部就職委員長	西 野 寿 章



ソフトボール全日本学生選抜、 ニュージーランド遠征について

経済学部4年 佐土原 剛さん

僕は2月7日から18日までの12日間、ソフトボール全日本学生選抜の一員の投手としてニュージーランド遠征に参加しました。全国の大学から合計20人、高崎経済大からは自分を含めて三人参加しました。

日本では冬、ソフトボールはオフシーズンですが、ニュージーランドは南半球のため夏で、ソフトボールシーズン真っ盛りでした。ニュージーランドは世界選手権で三連覇している世界最強の国なのでどれくらいのレベルなのか期待と不安が入り混じるなか出発しました。僕たちはニュージーランドの北島をウェリントンからオークランドに向かってバスで移動しながら転戦しました。試合をしてみてまず感じたことはストライクゾーンが日本とは少し違うということ、投手はゴムの板の上で投げないといけなくて投げにくいということ、他にもニュージーランドの選手は「体格が大きい」、「バットのスイングスピードが速い」ということを思いました。これだけで投げる自分にはプレッシャーでした。投げてみて日本ではなかなか打たれないコースに投げても腕が長いのでヒットにしてしまうということもありました。逆に日本ではあまり空振りを取れないチェンジアップが有効であるということが分かりました。試合二日目にはニュージーランド代表の投手と対戦する機会がありました。しかし今までに見たことの無いスピードで全員三振でした。

この遠征では後半にホームステイがあり慣れない英語と格闘することもありました。ソフトボールは勿論、ソフトボール以外にも色々な経験をする事が多く大変有意義な遠征となりました。

平成17年度就職状況

経済学部

学生生活

項目	男	女	計	備考		業種	男	女	計	備考
卒業予定者 A	410	144	554			農林漁業	0	0	0	0.0%
留年者 B	67	9	76			鉱業	0	0	0	0.0%
卒業生 C	343	135	478	(A - B)		建設	11	1	12	3.4%
就職希望者 D	249	102	351			食品製造	5	1	6	38(8) 10.9%
就職以外の 進路決定者 E	22	6	28	28	計 127	繊維工業	0	0	0	
	11	4	15			繊維製品	0	0	0	
その他 F	72	27	99	99		出版印刷	2	2	4	
就職者 G	247	102	349	99.4% (G / D)		化学製品	3	0	3	
大企業	147	48	195	55.9% 従業員>= 500		石油製品	0	0	0	
中企業	62	34	96	27.5% 従業員>= 100		鉄鋼製品	1	0	1	
小企業	23	18	41	11.7% 従業員<= 100		非鉄金属	0	0	0	
国家 1 種	0	0	0	1 (0) 0.3%		金属製品	0	0	0	
国家 2 種	0	0	0			一般機械器具	2	0	2	
国家 3 種	0	0	0			電気機械器具	5	1	6	
その他国家	1	0	1			輸送用機械	6	1	7	
国税関係	0	0	0			精密機械	0	0	0	
地方上級	1	0	0	14 (2) 4.0%		その他の製造	6	3	9	
地方中級	0	0	0			卸売業	24	3	27	
地方初級	0	0	0			小売業	38	9	47	21.2%
警察関係	4	0	4			銀行・信託銀行	39	19	58	102(37)
市町村	7	2	9	証券・商品取引	4	7	11			
教員(私立含む)	2	0	2	0.6%		生保・損保	2	3	5	29.2%
地方名	求人会社数		%	地方別 就職数	地方別 就職率 %	その他の金融	20	8	28	0.9%
						不動産業	1	2	3	
北海道	36	1.7	10	2.9	運輸業	16	6	22	24(6)	
東北	78	3.7	19	5.4	通信業	2	0	2	6.9%	
群馬(高崎以外)	142	6.7	81	23.2	電気ガス水道	2	0	2	0.6%	
高崎	68	3.2	21	6.0	医療サービス	1	3	4	77(34) 22.1%	
関東	250	11.8	33	9.5	法務サービス	0	0	0		
東京	894	42.2	116	33.2	教育サービス	2	0	2		
甲信越	100	4.7	10	2.9	宗教サービス	0	0	0		
北陸	73	3.4	5	1.4	非営利団体	0	0	0		
東海	156	7.4	23	6.6	その他サービス	26	17	43		
近畿	228	10.8	19	5.4	情報処理	14	14	28		
中国	49	2.3	5	1.4	国家公務員	1	0	1		0.3%
四国	19	0.9	4	1.1	地方公務員	14	2	16	4.6%	
九州	21	1.0	2	0.6	計	247	102	349	100.0%	
国外	2	0.1	1	0.3	() 内は女子					
計	2116	100.0	349	100.0						

平成17年度就職状況

地域政策学部

項目	男	女	計	備考		業種	男	女	計	備考	
卒業予定者 A	138	102	240			農林漁業	0	0	0	0.0%	
留年者 B	19	3	22			鉱業	0	0	0	0.0%	
卒業生 C	119	99	218	(A - B)		建設	1	2	3	2.0%	
就職希望者 D	88	66	154			食品製造	3	1	4	11(5) 7.2%	
就職以外の 進路決定者 E	12	11	23	23	計 64	繊維工業	0	0	0		
	10	8	18			繊維製品	0	0	0		
その他 F	19	22	41	41		出版印刷	1	2	3		
就職者 G	86	66	152	98.7% (G / D)		化学製品	0	0	0		
大企業業	48	35	83	54.6% 従業員>= 500		石油製品	0	0	0		
中企業業	18	17	35	23.0% 従業員>= 100		鉄鋼製品	0	0	0		
小企業業	8	9	17	11.2% 従業員<= 100		非鉄金属	0	0	0		
国家 1 種	0	0	0	6 (2) 3.9%		金属製品	0	0	0		
国家 2 種	0	1	1			一般機械器具	0	0	0		
国家 3 種	0	0	0			電気機械器具	0	0	0		
その他国家	3	1	4			輸送用機械	1	0	1		
国税関係	1	0	1			精密機械	0	0	0		
地方上級	2	0	2	11 (3) 7.2%		その他の製造	1	2	3		
地方中級	0	0	0			卸売業	5	5	10		36(13)
地方初級	0	0	0			小売業	18	8	26	23.7%	
警察関係	2	1	3			銀行・信託銀行	14	17	31	46(22)	
市町村	4	2	6			証券・商品取引	2	1	3		
教員(私立含む)	0	0	0	0.0%		生保・損保	1	0	1	30.3%	
地方名	求人会社数		%	地方別 就職数	地方別 就職率 %	その他の金融	7	4	11	2.6%	
						不動産業	2	2	4		
北海道	36	1.7		0	0.0	運輸業	4	2	6	6(2)	
東北	78	3.7		15	9.9	通信業	0	0	0	3.9%	
群馬(高崎以外)	142	6.7		28	18.4	電気ガス水道	1	0	1	0.7%	
高崎	68	3.2		9	5.9	医療サービス	0	0	0	28(15) 18.4%	
関東	250	11.8		15	9.9	法務サービス	0	0	0		
東京	894	42.2		48	31.6	教育サービス	0	0	0		
甲信越	100	4.7		11	7.2	宗教サービス	0	0	0		
北陸	73	3.4		3	2.0	非営利団体	0	0	0		
東海	156	7.4		12	7.9	その他サービス	7	11	18		
近畿	228	10.8		7	4.6	情報処理	6	4	10		
中国	49	2.3		1	0.7	国家公務員	4	2	6		3.9%
四国	19	0.9		1	0.7	地方公務員	8	3	11		7.2%
九州	21	1.0		1	0.7	計	86	66	152		100.0%
国	2	0.1		1	0.7	() 内は女子					
計	2116	100.0		152	100.0						

◆業種別就職状況 **経済学部**

() 内の数字は複数

■建設業

群馬セキスイハイム(株) (4) 住友林業(株) 積水ハウス(株) (2) 大成ロテック(株) 日本電話施設(株) 大和ハウス工業(株) ミサワホーム西関東(株) 飛鳥建設(株)

■製造業

(株)ライフーフーズ (株)伊藤園 オリヒロ(株) (3) コカ・コーラセントラルジャパン (株)上毛新聞社 荒瀬印刷(株) (株)広告新聞社 ひかりのくに出版(株) 塩野義製薬(株) トーアエイヨー(株) グラクソ・スミスクライン(株) 大平洋製鋼(株) (株)前川製作所 富士エンジニアリング(株) (株)協和エクシオ 東邦工業(株) 三洋東京マニュファクチャリング(株) (株)ティラド (株)サン電子 (株)日立産機システム 小倉クラッチ(株) 坂本工業(株) (株)ミツバ カルソニックカンセイ(株) スタンレー電気(株) 市光工業(株) 曙ブレーキ工業(株) (株)フコク タカラベルモント(株) アイリスオーヤマ(株) 太平洋ランダム(株) Y K K A P(株) ドギーマンハヤシ(株) カツデンアーキテック(株) ヤマザキマザック(株) N E C ライティング(株)

■卸売業

カネコ種苗(株) 群馬リコー(株) (2) キヤノンシステムアンドサポート(株) 国分(株) 第一実業(株) (株)マレイチ産商 加藤産業(株) 安藤(株) (株)成電社 (株)チクマ 日立コンシューマ・マーケティング(株) 都築電気(株) (2) (株)あらた カナカン(株) (株)ジェイアイエス (株)フードサービスネットワーク (株)アドヴァン (株)タケショー 日産トレーディング(株) 秋田基準寝具(株) J F E 商事鋼管管材(株) 萩森興産(株) 吉井電気(株) 新日エレクトロニクス(株) (株)エイ・ネット

■小売業

(株)ニトリ (2) (株)ヨークベニマル (2) (株)ベイシア (株)ヤマダ電機 (4) (株)良品計画 (株)しまむら (2) イオン(株) (2) 石川トヨタ自動車(株) 東京日産自動車販売(株) 日本ケンタッキー・フライドチキン(株) (2) (株)コメリ (株)アルペン 群馬トヨタ自動車(株) (3) (株)セキチュー ネットトヨタ高崎(株) (株)ヨドバシカメラ (株)クサリのマルエ (3) (株)カワチ薬品 (2) 富山トヨタ(株) (株)アオキインターナショナル (株)ジャパネットたかた (株)ホワイティ マックスバリュ東海(株) ネットトヨタ広島(株) (株)クリエイト・レストラント (株)ガリバーインターナショナル (株)東北北マツダ 福岡日産自動車(株) (株)おおつか (有)ジェムストーン 札幌ホンダグループ (株)みつわ (株)ワンゾーン (株)ジュン・アシダ

■金融業

(株)北洋銀行 (3) (株)青森銀行 (株)岩手銀行 (株)北日本銀行 (株)七十七銀行 (5) (株)東邦銀行 (株)常陽銀行 (4) (株)栃木銀行 (3) (株)群馬銀行 (15) (株)東和銀行 (2) 日本銀行 (株)八十二銀行 (3) (株)大垣共立銀行 (株)十六銀行 (3) (株)名古屋銀行 (株)鳥取銀行 (株)中国銀行 (2) (株)香川銀行 (株)百十四銀行 (3) (株)茨城銀行 (株)千葉興業銀行 (2) (株)三菱東京UFJ銀行 (株)北都銀行 (株)りそなホールディング カネツ商事(株) エイチ・エス証券(株) 東海東京証券(株) (2) 日興コディアル証券(株) (2) 今村証券(株) (株)小林洋行 丸福証券(株) 東京コムウエル(株) 大和証券投資信託(株) 日本興亜損害保険(株) 三井住友海上火災保険(株) 大同生命保険(株) 群馬県民共済生活協同組合 ぐんま共済・群馬県火災・商工共済協同組合 北海道労働金庫 桐生信用金庫 東群馬信用組合 ぐんま信用金庫 (3) (株)ジェシービー 巣鴨信用金庫 中央労働金庫 (3) 東京信用保証協会 東日本建設業保証(株) 尾西信用金庫 長野県信用組合 浜松信用金庫 (株)セントラルファイナンス 播州信用金庫 高崎信用金庫 かんら信用金庫 (4) かみつけ信用組合 (株)S F C G 三重県信用農業協同組合連合会 遠州信用金庫 興銀リース(株)

■不動産業

(株)シニアイ (株)スミカ スペースコレクション(株)

■運輸・通信

日本通運(株) (4) 東日本旅客鉄道(株) (3) ヤマト運輸(株) 立山黒部貫光(株) (株)引越社 センコー(株) (株)群馬バス (株)エイチ・アイ・エス 西日本旅客鉄道(株) アートコーポレーション(株) 日本貨物鉄道(株) 日東ロジスティクス(株) 日本交通(株) (株)J T B 関東 トヨタ輸送(株) 国際エアラインサービス(株) E I T H E R T R A D E C O . L T D (株)アイ・イーグルン (株)光通信

■電力・ガス

北海道電力(株) 東邦ガス(株)

■サービス業

富士工業健康保険組合総合太田病院 日本赤十字社栃木県支部 医療法人社団須田医院 (株)メディアネット (株)栄光 (株)総合資格 ホクレン農業協同組合連合会 群馬総合リース(株) (株)群馬ロイヤルホテル 税理士法人青木秋葉会計 (株)メモリード 三井住友リース(株) (株)ガイア (株)ダイナム (株)エクセルホテル東急 (株)ミニミニ (株)NOVA (株)トヨタレンタリース群馬 (株)さくら会計 北海道農業協同組合中央会 コー(株) マルキンアド(株) 前橋市農業協同組合 ソフトインクローバル(株) (株)リクルートエイブリック (株)モック (株)ヒカリシステム (株)ディスパ 伊藤啓三税理士事務所 税理士法人赤津総合会計 (有)高橋良昌税務会計事務所 I V S テレビ制作(株) 群馬総合リース(株)

学生生活

税理士法人 真下経営 (株)読売インフォメーションサービス 総合ユニコム(株) (株)ニシカワインフォメーションサービス アニコムインターナショナル(株) シムックス(株) 利根沼田農業協同組合 (株)ベンチャー・オンライン (株)ザ・トカイ 富山会計事務所 加藤会計センター パブリックレコード(株) (株)エイエスシー (株)R.G.B 北郡渋川農業協同組合 (株)名南経営 コンピュータロン(株) システム・アルファ(株) (株)ナブ・アシスト (2) (株)両毛システムズ (株)インフォテクノ朝日 (株)TKC 富士情報通信(株) 三井情報開発(株) エン・ジャパン(株) (2) (株)高崎共同計算センター マクロ(株) ハイテックシステム(株) 日本情報産業(株) (株)ランドコンピュータ (株)フレックス (株)グロージュ ヴィンキュラム・ジャパン(株) エムオーテックス(株) 日立電子サービス(株) (株)プランニング (株)中電シティーアイ (株)ワイズノット (株)ブラネット

■公務

陸上自衛隊 結城市役所 伊勢崎市役所 邑楽町役場 群馬県教員 群馬県警 (3) 警視庁 山梨県教員 伊東市役所 高崎市等広域消防局 (2) 東京消防庁 下郷町役場 伊勢崎市消防 多野藤岡広域消防

◆業種別就職状況 地域政策学部

() 内の数字は複数

■建設業

大和ハウス工業(株) オーダス(株) (株)松岡組

■製造業

ケンコーマヨネーズ(株) 三国コカ・コーラボトリング(株) 森永乳業(株) (株)ブルボン 上毎印刷工業(株) (株)ワコーヴィスコム (株)DNP東北 中央発條(株) エスピック(株) ヒサゴ(株) 台湾NEC

■卸売業

岩瀬産業(株) カネコ種苗(株) ナイス(株) カネボウ化粧品関越販売(株)群馬馬社 アカチャンホンポグループ 日立コンシューマ・マーケティング(株) エプソン販売(株) 東京シティー青果(株) (株)ジェアイエス 東京宝(株)

■小売業

(株)ヨークベニマル (株)ベイシア (株)セーブオン (2) (株)ヤマダ電機 (生協)ちばコープ (株)コメリ (株)オキノ (2) (株)平和堂 (株)ローソン 群馬トヨタ自動車(株) ネットトヨタ高崎(株) (株)パロー (株)クイーンズ伊勢丹 (株)アビステ (株)ウエルネスムーブメント (有)グロウ (有)吉兆ダイニング (株)オービックオフィスオートメーション (株)ウエッズ (株)インターメスティック (株)さくらや (株)ブルーム 21

■金融業

(株)岩手銀行 (3) (株)北日本銀行 (株)七十七銀行 (株)仙台銀行 (株)秋田銀行 (3) (株)荘内銀行 (株)関東つくば銀行 (株)常陽銀行 (2) (株)栃木銀行 (2) (株)群馬銀行 (4) (株)東和銀行 (2) (株)東日本銀行 (株)八千代銀行 (株)八十二銀行 (3) (株)大垣共立銀行 (株)中国銀行 (株)茨城銀行 (株)千葉興業銀行 (株)北都銀行 岡三証券(株) みずほインベスターズ証券(株) 高木証券(株) 全国労働者共済生活協同組合連合会 (全労済) 桐生信用金庫 中央労働金庫 (2) 東京信用保証協会 新潟県信用組合 磐田信用金庫 静岡県労働金庫 高崎信用金庫 (3) 東北労働金庫

■不動産業

オークラヤ住宅(株) (株)ニッテイ A P Aグループ みずほ信不動産販売(株)

■運輸・通信

(株)日本旅行 東日本旅客鉄道(株) (2) 西日本鉄道(株) (株)エイチ・アイ・エス (株)キューソー流通システム

■電力・ガス

東邦ガス(株)

■サービス業

全国農業協同組合連合会群馬県本部 (3) 山田社会保険労務士事務所 群馬総合ガードシステム(株) 毎日コミュニケーションズ(株) (株)リクルート (株)スタジオアリス (有)鳥津会計事務所 群馬県国民健康保険団体連合会 前橋市農業協同組合 (株)ナカダイ (株)ワオ・コーポレーション 東都生活協同組合 J A秋田ふるさと (株)E C C (株)J T B商事 長野県農業協同組合連合会 システム・アルファ(株) 楽天(株) (株)トライ (株)エス・テイ・テイ・データ・フロンティア 三菱情報システム(株) (株)ウィルコム (株)プランニング (株)N I D ・ I S (有)K M テクノサービス (株)ガイアックス

■公務

航空自衛隊 陸上自衛隊 (2) 関東信越国税局 日本郵政公社 国土交通省国土地理院 宇都宮市役所 栃木県庁 前橋市役所 福井市役所 静岡県警 静岡県庁 富士市役所 徳島県警 水戸市役所 榛名町役場 福井県警



私が大学へ通っている時代は、まだ両毛線が電化される前であった。

朝 6 : 48 足利駅から汽車にのり、第 1 時限目の講義に出席したことを懐かしく思い出します。

1 年目は講義をサボることもなく真面目に通っておりましたが、当時学園紛争の真ただ中で校門がロックアウトされて講義が受けられなかったりして徐々に学校から足が遠のいていった。

そんな折、仲間の誘いでハワイアンバンド（ブルーマウンテン）に入って活動を始めた。このバンド活動が私のその後の人生を大きく左右することになった。

元来アルコールが全く飲めない私は大学のコンパでも苦勞をしたが、社会人になってからは宴会になると歌を唄って座をもたせることができた。また、大勢の前で演奏することで、人前で話したりすることの度胸がついた。

さらに、このバンドが縁で 1 年先輩の F 氏に誘われて、地元の足利市役所を通りこして隣の桐生市役所へ就職した。そこでも就職するなりすぐに F 氏と仲間を集めハワイアンバンドを組んで、5 時過ぎの余暇活動を始めた。そのバンドも途中中断があったりしたが、今年で 35 年目を迎える。8 月には高齢者の施設を慰問する計画で、もっか練習を再開した。

振り返ってみると大学時代の 4 年間は人生の中でも最も充実し、楽しい時代だったと思えます。ただ、後悔することが何もないと言われるれば少しはあると言わざるを得ない。もう少し勉強しておけばよかったと思う。

卒業後何年かよく夢をみた。大学構内の掲示板の前で試験の日程を探している夢だ。

そこで在校生に申し上げます。「良く遊びよく学べ」は先人の格言。

人生はやり直しはきかないが、失敗しないためには先輩の話に耳を傾け、先人の言葉を参考にし、いかにそれに早く気づき実行できるかだと思います。



はじめまして。私は今、警視庁第八機動隊のレスキュー隊員として勤務しています。レスキューと聞くと皆さんは消防を思い浮かべるかもしれませんが、警察のレスキューも現場でやるべきことは変わりありません。事故、災害はいつでも起きるかわからないので、消防に負けないよう日々訓練しています。

私は平成 12 年に地域政策学部の第 1 期生として卒業しました。今では地域づくり学科、観光政策学科ができ、地域政策学部の名は知れ渡っていることと思いますが、私が卒業した当時はよく、何を勉強するところなの？と聞かれました。皆さんも聞かれることがあるかもしれませんが、その時に、こういうことを勉強しましたと自信を持って答えられるといいと思います。せっかく数ある大学の中から高経を選んだのですから、これは他の大学では学べないなというようなことを学び取って欲しいと思います。そう言う私はあまり勉強をしなかったのでいつも曖昧に答えています。大学で何をやったかと聞かれれば、部活だと自信を持って答えています。寿司につられて入った空手部でしたが、私の人生を変えたと言っても過言ではないと思います。空手をやっていなかったら警察官にはなっていなかったですね。

大学の 4 年間ほど時間を自由に使える時期はありません。何もしないで卒業してしまうのはもったいないです。4 年間のうち何でもいから一生懸命頑張ってください。勉強でも部活でも、遊びでもバイトでも何でもいいです。経験が活かされる時は必ずあります。また、何が今後生きてくるかわかりません。いろいろやってみてください。やりたいことが見つからないという方はとりあえず体育館 2 階の道場に行ってみるのもいいかもしれません。何かが変わるかもしれませんよ。

4 年生の皆さんの中には就職活動の真っ最中という方も多と思います。この短期間で一生の仕事を選ぶというのはなかなか難しいです。焦らずにゆっくり決めた方がいいと思います。私も卒業後 1 年間就職浪人をし、今の仕事を選びました。決して就職浪人をしろというわけではありませんが、自分に合った仕事は必ずあります。見つかるまで探すのも一つのやり方だと思います。とにかく学生時代はいろいろなことを経験して、楽しく充実した生活を送ってください。そうすれば社会に出ても怖いものなしです。頑張ってください！

クラブ紹介(51)

陸上競技部

こんにちは、陸上競技部です。私たち陸上競技部は、今年度部員40名(競技者34名)を越え、高崎経済大学体育会の中でも大所帯となりつつあります。合同練習は週に4日、火・水・金曜日に16:15～、土曜日に9:00～主に河川敷グラウンド、浜川運動公園で3時間程度行っています。主な大会としては、関東インカレ・国立二十二大学対抗・北関東五大学対抗などがあります。いずれの大会も、他大学とは未だ大きく溝を開けられてしまっている状態ですが、年々力をつけ上を目指せる部として進歩を続けています。

さて、わが陸上競技部には指導者がいません。私立大学と比べ施設も十分とはいえず、体育科があり有名選手が集まるような環境でもありません。しかし、実際にはそのような恵まれた環境がある・ないに関わらず、同じ土俵で勝負をしなくてはならないのです。私はそんな環境の違いの下で強豪大学に勝つことには非常に意味があると思います。自身で考え、すべてを管理し強くなっていく。これが今、この環境で競技していく上で最大の目標なのです。以前と比べ部員数も増えて部内の出場枠争いも激化するうえで、意識の高まりも感じます。部員それぞれ環境が違うからといった諦めよりも、そのような選手たちに勝つための向上心を持ち続けられるようになってきました。あとは、結果を出すだけです。見ていてください、陸上競技部が高崎経済大学を代表する部になるその日まで。

(陸上競技部幹事長 地域政策学部3年 吉田 禎)



旅行研究会

こんにちは、旅行研究会です。我々旅行研究会は通称旅研と呼ばれ、平成18年5月現在30人で活動しています。主な活動は毎週月曜日の部会と年2回春休み、夏休みに行く大旅行です。部会では主に旅行の行き先を部員で話し合い計画を立てています。旅研は旅行サークルですが、部員全員が旅行について詳しいというわけではありません。地理にとっても詳しい人、旅行の知識はないけれど旅行するのが大好きな人、電車に詳しい人などいろんな人たちが集まっています。学年同士の壁がなく、みんな仲が良いということも旅研の良いところだと思います。

旅研では今までに大旅行で京都・沖縄・北海道・九州など全国各地を訪れました。京都では、清水寺、二条城、金閣寺など歴史の名所を訪れ、京都の歴史について深く学ぶことができました。京都は私が旅研に入って初めて行った旅行なのでとても思い出に残っています。沖縄では、首里城、ひめゆりの塔を訪れました。また沖縄の綺麗な海や魚を見ることによって沖縄の雄大な自然を身近に感じることができました。沖縄に行くのは初めてだったので見るもの全てが新鮮でした。北海道・九州旅行も部員それぞれが思い出を作り心に残っていると思います。旅行すると旅行先の人々と実際に触れ合えるというのも旅行の魅力だと思います。これからも全国各地に旅行する予定です。旅行するのが大好きな方、電車に詳しい方、思い出を作りたい方、私たちと一緒に旅行して思い出を作ませんか。お待ちしております。

(幹事長 経済学部3年 市川 絵理香)



● 福島県 地域政策学部1年 箱崎貴匡さん

私の故郷である福島県は東北地方の南に位置し、北海道・岩手に次いで日本で3番目に面積の大きい県です。大きな県であるため、歴史・気候・生活圏などの違いから浜通り・中通り・会津の3地域に分けることが多くなっています。

太平洋を臨む浜通りは、漁業はもちろんのこと、東京の電力需要を支える原子力発電など臨海工業が盛んな地域です。サッカー日本代表の合宿所・Jヴィレッジがあり、W杯前の合宿には多くのサポーターが詰め掛けました。相馬野馬追いは数百騎の騎馬武者たちが御神旗を奪い合う神旗争奪戦や甲冑を身につけて行う甲冑競馬で有名な伝統行事です。

県都・福島市が含まれる中通りは県の行政・経済の中心です。阿武隈川が流れるこの地域は高村光太郎の妻智恵子の故郷で、その美しい風景は「智恵子抄」で述べられています。

会津地方は福島県一の観光地域です。その中心・会津若松市は歴史の街として有名です。街のシンボル・鶴ヶ城をはじめ、白虎隊の悲劇の場となった飯盛山、江戸時代に会津を治めた松平家の庭園・御薬園、大正の面影の残る七日町などの史跡や町並みが今に歴史を伝えてくれます。地域全体でも、江戸時代の宿場町の面影を今に残す大内宿や、名峰・磐梯山、自然豊かな裏磐梯公園、我が国第4位の面積を誇り、透明度も高い湖・猪苗代湖、そして尾瀬と数多くの自然・歴史観光地を有しています。

福島県にはここでは書ききれないほどの魅力が詰まっています。皆さんもぜひ福島を訪れてみてください。



シリーズ

● 中国・湖南省 地域政策学部3年 蔣 雄 軍さん

私の故郷は中国の湖南省です。湖南省は「湘」と略称されています。春秋戦国時代は楚に属し、唐の時代から「湖南」という名前が使われてきました。古くから人材が輩出し、三国志に有名な将領：黄蓋、新中国の指導者の毛沢東、劉少奇、前首相の朱熔基などがいます。

湖南省は中国の東南部、長江の中流、洞庭湖の南部に位置し、面積は21.18万平方キロ、人口6,600万人、中国で第7位を占めています。湖南省には漢民族、トゥチャ族、ミャオ族、など41の民族が住んでおります。湖南省の北に位置している洞庭湖の広さは、2,740平方キロメートルで日本の琵琶湖の約4倍です。湖南省は日本の滋賀県と友好地方連携しています。

湖南省は中国において重要な農業省の1つです。古くから"魚米の郷"として有名です。近年ではIT、バイオテクノロジー等の工業も急激に発展しており、新しい産業の柱となっています。2004年のGDPは5612.26億元、前年と比べると12.0%増加しています。

湖南省は美しい山と川に恵まれ、名所旧跡が多いです。その代表のひとつは張家界武陵源です。張家界は総面積369平方km²で世界遺産に指定されています。景勝地は世界でもまれな石英砂岩が林立する奇観で、原始林の生態環境が保たれており、その風景はまるで美しい山水画のようです。

湖南省の料理は湘菜といわれ、中国料理の代表的な「八大料理」の一つに数えられています。四川料理は胡椒をきかせた舌がしびれるような辛さに対し、湖南料理は「酸辣（スワンラー）」と称され、酸っぱ辛いのが特徴です。

湖南省は魅力に溢れるところです。皆さんチャンスがありましたら是非湖南省に遊びに来てください。



省都長沙



湖南産唐辛子



芙蓉鎮



張家界



岳麓書院

LTUでの5週間

経済学部3年

清水春香さん

まだまだ寒い2月中旬、日本を旅立ち夏季であるメルボルンへと向かった。初海外、初めてのホームステイ、初めての語学学校、とすべてが初めてで右も左もわからない、そんな状態だった。しかしホストマザーをはじめ、ランゲージセンターの友達、先生、みんなに囲まれた毎日があっという間で夢のようだった。

ラトロブ大学では様々な国の友達ができ、中国や、ペルー、サウジアラビアなど、普段日本での生活では、決して出会うことのない友達に出会うことができた。しかし、最初は話しかけられても自分の言いたいことが言えず、悔しい思いもたくさんした。でもそんな自分に何度も話しかけてくれたり、耳を傾けてくれたり、本当に嬉しかった。また、様々な年齢の人が集まっていたこともあり、それぞれの夢について語りあい、時には一緒にふざけあったり楽しい学校生活を過ごした。週末にはメルボルン近郊の観光地を訪ねた。日本ではなかなか見ることのできない広大な土地と、澄んだ海に感動した。バスツアーだったため、現地の人と触れ合うよい機会となった。また、メルボルンではコモンウェルスゲームというスポーツの祭典が行われており、幸運にもホストマザーが開会式のリハーサルのチケットを手に入れてくれ、本番さながらの雰囲気を楽しむことができた。

1日の半分を一緒に過ごすホストマザーはとてまあたかく見守ってくれた。毎日スリランカのカレーでもてなしてくれ、一緒に優雅なクラシック音楽を聴きながら紅茶を飲むのが日課であった。

毎日が驚きと発見であった5週間。けして語学力があるとはいえない自分が楽しく、自然に笑っていられたのは様々な人に支えられていたからだと思える。そしてこの経験は、自分自身を見直し、一歩踏み出すよい機会となった。本当に5週間という夢のような時間と、そこで出会った人々に改めてありがとう、と言いたい。



Good Memories of Australia!

地域政策学部3年
佐藤裕貴さん

皆さんこんにちは。今年の2～3月にLTUに短期留学した佐藤です。所属しているサークルは体育会水泳部で、英語とはまったくと言ってよいほど縁が無い団体です。しかし、個人的に昔から海外に滞在してみたいという願望があり、行くことを決意しました。しかし英語に関しては、センターなどの試験はそこまで優秀な点数でもなく、ましてや、大学に入学してから勉強はろくにせず、正直、不安でした。

個人的に初の海外だったので多くに不安を抱えたまま、成田を発ち、翌日メルボルンに到着。そこは他民族、他言語のオンパレードで、かなり違和感を覚えました。そしてついにホストファミリーとの面会！ホストマザーはとても親切で、ジェスチャーなどわかりやすい表現で話しかけてくれて、戸惑っていた私はすごく安心しました。また、私が本当に恵まれていたのは、ホームステイ先で韓国人の男性も住んでいて、彼もとても親切だったことです。彼のおかげで、学校では韓国の友達がいっぱいでき、よくお互い母国語や国内事情など教えあったりして楽しい時間を過ごすことが出来ました。また、お互いに英単語や文法、発音などの誤りを指摘しあうことにより、わずか一ヶ月ながら聞き取りや会話表現力が自分でも上がったと思うくらい向上することに成功しました。

この1ヶ月間については、正直、本誌でもっと紹介したいのですが、あえて簡単にまとめれば『最高!』の一言に尽きます。皆さん、是非、自分の目で確かめてみてください。高額な費用を要しますが、それをはるかに超える価値のある経験ができることを保証します。後悔は絶対しません!また、せっかくの海外ですから、現地では失敗を恐れず、多くの人種や幅広い年層の人々と触れ合い、どこか小旅行や現地の人々とパーティーをするなど、一秒でも、とにかく active に行動してください!



人事関係記事

〈平成 18 年 4 月 1 日付〉

【教 員】

新規採用

経済学部	田中 久夫教授	潜道 文子助教授			
	大石 恵講師	岡田 知之講師			
地域政策学部	白井 義男教授	寺前 秀一教授	河藤 佳彦助教授		
	佐藤 公俊助教授	伊佐 良次講師	今井 信雄講師		
	片岡 美喜講師	小牧 幸代講師	高橋 美穂子講師		
	土肥 将敦講師	中村 匡克講師	味水 佑毅講師		
	吉原 美那子講師				

退職

経済学部	加藤 敬弘教授	山浦 瑛子教授	藤野 寛教授		
地域政策学部	斉藤 達三教授	長谷川 秀男教授			

昇任 ※ () 内は前職

経済学部	今井 雅和教授 (助教授)	岡村 晃子教授 (助教授)			
	唐澤 達之教授 (助教授)	湯沢 伸夫教授 (助教授)			
	阿久津 由佳助教授 (講師)	池田 幸典助教授 (講師)			
地域政策学部	大野 武助教授 (講師)	黒川 基裕助教授 (講師)			
	櫻井 常矢助教授 (講師)	佐藤 徹助教授 (講師)			
	高橋 美佐助教授 (講師)	坪井 明彦助教授 (講師)			
	友岡 邦之助教授 (講師)				

【職 員】

転出 (昇任含む) ※ () 内は転出先

庶務課長：小金沢 明彦 (保健福祉部長寿社会課介護保健室長)
庶務課課長補佐：住谷 正喜 (総務部技術監理課長補佐)
庶務課主任主事：福澄 信一 (新町支所地域振興課主任主事)
庶務課主任主事：近藤 勲 (保健福祉部長寿社会課介護保健室主任主事)
教務課長：小林 直樹 (総務部行政管理課付課長)
教務課教務担当係長：安藤 敏行 (市長公室文化課新町文化ホール館長)
教務課主任主事：飯沼 純一 (市民部保健年金課主任主事)
入試課長補佐：関根 幸男 (財務部資産税課長補佐)

学生課長：小林 哲夫（退職）
 学生課主査：藤沼 克啓（教育委員会事務局教育部文化財保護課主査）
 学生課主査：平田 敏則（保健福祉部健康課保健指導担当係長）
 高等学校課長：吉田 統久（高崎経済大学附属高等学校副校長）
 附属図書館事務室長：茂木 利夫（市民部市民生活課長）
 附属図書館事務室主任主事：井田 恵利子（財務部資産税課主任主事）
 附属図書館事務室主任主事：高橋 宏文（都市整備部区画整理2課主任主事）

転入（昇任含む）※（ ）内は前職

庶務課長：大山 正己（建設部住宅課長）
 庶務課長補佐：鈴木 教喜（技術監理課長補佐）
 庶務課主任主事：小和瀬 剛（保健年金課主任主事）
 庶務課主任主事：田中 功樹（群馬支所税務課主任主事）
 庶務課主任運転技士：福田 信夫（片岡小学校給食技士）
 教務課長：根岸 隆一（選挙管理委員会事務局次長）
 教務課長補佐：土屋 秀夫（総務課長補佐）
 教務課主任主事：手塚 靖（新町支所地域振興課主任主事）
 入試課入試担当係長：細野 祐一（区画整理課換地移転担当係長）
 学生課長：前田 始（水道局給水課長）
 学生課主査：新井 正芳（資産税課主査）
 学生課主任主事：新井 英規（倉渕支所保健福祉課主任主事）
 高等学校課長：小柴 誠一（県立赤城養護学校日赤分校）
 附属図書館事務室長：桐生 恵美子（図書館次長補佐）
 附属図書館事務室主査：井田 英子（総務課主任主事）
 附属図書館事務室主事：山田 紘行（倉渕支所付主事）

局内異動（昇任含む）※（ ）内は前職

庶務課主任主事：井上 尚樹（庶務課主事）
 教務課主任主事：奥原 和子（教務課主事）
 庶務課主事：竹内 芳徳（庶務課主事補）
 学生課主事：武井 欽也（学生課主事補）
 学生課主事：久松 和信（学生課主事補）

平成18年度 公開講座

共通テーマ「観光とまちづくり」

第1部：観光政策学科設立記念講演

平成18年9月27日(水) 18:00～19:40【附属図書館ホール】

挨拶 高崎経済大学長 木暮 至

地域政策学部長 大宮 登

講演 観光政策学科長 津久井 良充

「観光政策学科設置とまちづくりにおける大学の役割」

参加費
無料

第2部：観光政策学科設立記念パネルディスカッション

平成18年10月4日(水) 18:00～20:00【附属図書館ホール】

テーマ 「観光とまちづくり—これからの高崎を考える—」

司会 寺前 秀一(地域政策学部教授)

パネラー 今井 信雄(地域政策学部講師) 片岡 美喜(地域政策学部講師)

味水 佑毅(地域政策学部講師)

参加費
無料

第3部：ゼミナール方式 共通テーマ <観光とまちづくり>

西野 寿章 地域政策学部教授	10/17(火) 10/18(水)	これからの地域観光振興への政策的視点～都市型地域観光振興～ 〃 ～農村型地域観光振興～
富澤 一弘 経済学部教授	10/24(火) 10/31(火)	近代の海水浴 近代の伊香保温泉について
佐々木 茂 経済学部教授	10/30(月) 11/6(月)	地域ブランド戦略
石川 弘道 経済学部教授	11/14(火) 11/21(火)	観光情報とインターネット データでみる観光
白井 義男 地域政策学部教授	11/17(金) 11/24(金)	サービス・マネジメントの視点による考え方

時間：18:40～20:10 場所：附属図書館会議室

定員：25名(先着順)定員になり次第締め切ります

対象者：18歳以上の方

修了証：5回以上出席の方には最終日に修了証を交付します。

受講料
2,000円
全日程分

申し込みについて

郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、第1部・第2部・第3部の選択(重複可)を電話、FAX、Eメールにて下記までご連絡ください。

※第1部、第2部は定員を超えた場合のみご連絡いたします。第3部については9月中旬頃、受講証をお送りします。

※第1部、第2部は当日参加も可能ですが、できる限り事前登録にご協力ください。

申し込み、問い合わせ先

高崎経済大学庶務課公開講座担当(担当：井上)

電話 027-343-5417 FAX 027-343-4830 E-mail syomu@tcue.ac.jp

平成18年度入学試験実施状況

経済学部

() 数字は女子で内数

試験区分	志願者数	受験者数	入学者数
前期日程	890 (192)	814 (174)	153 (34)
公立大学中期日程	2,835 (649)	1,799 (419)	240 (46)
推薦A	164 (56)	164 (56)	71 (30)
推薦B	89 (25)	87 (25)	30 (10)
私費外国人留学生	33 (16)	33 (16)	5 (2)
社会人	1 (0)	1 (0)	1 (0)
帰国生徒	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2・3年次編入・転入	11 (5)	5 (2)	2 (0)
合計	4,023 (943)	2,903 (692)	502 (122)

地域政策学部

試験区分	志願者数	受験者数	入学者数
前期日程	1,138 (334)	1,006 (289)	223 (68)
後期日程	1,018 (352)	498 (160)	133 (53)
推薦Ⅰ	162 (68)	160 (68)	57 (31)
推薦Ⅱ	154 (51)	154 (51)	49 (15)
私費外国人留学生(1次)	31 (15)	30 (15)	22 (12)
私費外国人留学生(2次)	13 (6)	12 (6)	3 (3)
社会人	1 (1)	1 (1)	1 (1)
2年次編入・転入	18 (5)	18 (5)	6 (1)
3年次編入・転入	44 (27)	43 (27)	22 (18)
2年次編入(県内推薦)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
3年次編入(県内推薦)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
合計	2,584 (864)	1,927 (627)	521 (207)

大学院 経済・経営研究科

	選抜区分	志願者数	受験者数	入学者数
博士前期 第1期試験	現代社会経済システム専攻	7 (1)	6 (1)	4 (1)
	現代経営ビジネス専攻	8 (4)	8 (4)	5 (3)
	計	15 (5)	14 (5)	9 (4)
博士前期 第2期試験	現代社会経済システム専攻	6 (2)	5 (2)	4 (2)
	現代経営ビジネス専攻	3 (1)	3 (1)	3 (1)
	計	9 (3)	8 (3)	7 (3)
博士後期課程		1 (0)	1 (0)	1 (0)
経済・経営研究科合計		25 (8)	23 (8)	17 (7)
聴講生・科目履修生		0 (0)	0 (0)	0 (0)

大学院 地域政策研究科

		志願者数	受験者数	入学者数
博士 前期課程	秋季日程試験	22 (8)	19 (7)	11 (6)
	春季日程試験	12 (3)	12 (3)	10 (2)
	計	34 (11)	31 (10)	21 (8)
博士後期課程		7 (1)	7 (1)	7 (1)
地域政策研究科合計		41 (12)	38 (11)	28 (9)
聴講生・科目履修生		3 (2)	3 (2)	3 (2)

平成19年度入試日程

経済学部

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員
前期日程	平成19年2月25日(日)	平成19年3月6日(火)	140名
公立大学中期日程	平成19年3月8日(木)	平成19年3月21日(水)	240名
推薦A	平成18年11月19日(日)	平成19年11月24日(金)	70名
帰国生徒	平成18年11月17日(日)	平成19年11月24日(金)	若干名
社会人	平成18年12月17日(日)	平成19年1月12日(金)	〃
2・3年次編入・転入	平成18年12月17日(日)	平成19年1月12日(金)	〃
3年次編入・転入	平成18年12月17日(日)	平成19年1月12日(金)	〃
私費外国人留学生	平成18年12月17日(日)	平成19年1月12日(金)	〃
推薦B(センター試験利用)	平成19年2月4日(日)5日(月)	平成19年2月9日(金)	30名

地域政策学部

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員
前期日程	平成19年2月25日(日)	平成19年3月6日(火)	200名
後期日程	平成19年3月12日(月)	平成19年3月21日(水)	100名
2年次編入・転入	平成18年9月16日(土)	平成18年9月22日(金)	10名
3年次編入・転入	平成18年9月16日(土)	平成18年9月22日(金)	25名
推薦I	平成18年11月19日(日)	平成18年11月24日(金)	50名
帰国生徒	平成18年11月19日(日)	平成18年11月24日(金)	若干名
社会人	平成18年11月19日(日)	平成18年11月24日(金)	〃
私費外国人留学生(1次)	平成18年9月16日(土)	平成18年9月22日(金)	25名
私費外国人留学生(2次)	平成19年1月7日(日)	平成19年1月12日(金)	若干名
推薦II(センター試験利用)	書類選考のため選抜試験なし	平成19年2月9日(金)	45名

大学院 経済・経営研究科

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員	
			一般学生	社会人学生・外国人留学生
博士前期課程第1期	平成18年9月16日(土)	平成18年9月22日(金)	一般学生	10名
			社会人学生	10名
			外国人留学生	若干名
博士前期課程第2期	平成19年2月17日(土)	平成19年2月23日(金)	一般学生	若干名
			社会人学生	若干名
			外国人留学生	若干名
博士後期課程	平成19年2月17日(土)	平成19年2月23日(金)	4名	

大学院 地域政策研究科

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員	
博士前期課程(秋季日程)	平成18年9月16日(土)	平成18年9月22日(金)	一般学生	7名
			社会人学生	10名
			外国人留学生	3名
博士前期課程(春季日程)	平成19年2月17日(土)	平成19年2月23日(金)	一般学生	若干名
			社会人学生	若干名
			外国人留学生	若干名
博士後期課程	平成19年2月17日(土)	平成18年2月23日(金)	5名	

図書館だより

平成18年度図書保有状況調

(平成18年3月31日現在)

図 書

区 分		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	K	その他	計	未入力分	総 計
		総 記	宗教哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術工学	産業・スポーツ	芸 術	言 語	文 学	郷 土				
和書	購 入	7,966	7,593	21,112	78,311	7,403	9,319	18,183	3,414	6,646	7,651	661	3,100	171,359	0	171,359
	寄 贈	919	1,631	11,487	8,352	511	645	1,996	708	231	1,859	2,414	114	30,867	0	30,867
	管理換	437	509	2,677	6,743	2,521	896	1,242	296	429	344	77	258	16,429	0	16,429
	その他	6	2	8	35	4	2	8	1	11	1	3	2	83	0	83
	計	9,328	9,735	35,284	93,441	10,439	10,862	21,429	4,419	7,317	9,855	3,155	3,474	218,738	0	218,738
洋書	購 入	3,933	1,065	1,524	20,442	965	1,982	3,007	216	2,161	1,294	0	235	36,824	0	36,824
	寄 贈	241	279	183	574	92	60	82	27	72	418	3	6	2,037	0	2,037
	管理換	89	255	279	2,376	34	175	249	25	497	529	0	28	4,536	0	4,536
	その他	9	1	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	16	1,097	1,113
	計	4,272	1,600	1,986	23,394	1,091	2,218	3,338	269	2,731	2,241	3	270	43,413	1,097	44,510
総 計	13,600	11,335	37,270	116,835	11,530	13,080	24,767	4,688	10,048	12,096	3,158	3,744	262,151	1,097	263,248	

学術雑誌

区 分	タイトル数
和	
購 入	334
寄 贈	1,009
管理換	0
その他	7
計	1,350
洋	
購 入	318
寄 贈	10
管理換	0
その他	3
計	331
計	1,681

他大学論集・紀要

区 分	タイトル数
和	
購 入	0
寄 贈	1,620
管理換	0
その他	0
計	1,620
洋	
購 入	0
寄 贈	0
管理換	0
その他	0
計	0
計	1,620

新 聞

区 分	タイトル数
和	
購 入	19
寄 贈	1
管理換	0
その他	0
計	20
洋	
購 入	3
寄 贈	0
管理換	0
その他	0
計	3
計	23

特別文庫

文 庫 名	和書	洋書
中村文庫	1,026	336
徳田文庫	505	0
大沢文庫	82	23
真保文庫	1,181	0
前田文庫	201	0
飯塚文庫	1,376	41
都築文庫	427	0
毛利家文庫	323	0
川村文庫	610	0
松本文庫	2,178	45
地 方 史	5,653	5

視聴覚資料

区 分	ビデオテープ	カセットテープ	C D	マイクロフィッシュ	マイクロフィルム	CD-ROM	D V D	L D	その他	計
和	購 入	2,185	229	215	6,660	1,903	443	319	29	11,994
	寄 贈	31	0	2	0	0	0	2	0	40
	管理換	215	25	0	0	94	0	0	0	343
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,431	254	217	6,660	1,997	443	321	29	25
洋	購 入	64	5	17	0	23	14	25	0	148
	寄 贈	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理換	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	64	5	17	0	23	15	25	0	0
合 計	2,495	259	234	6,660	2,020	458	346	29	25	12,526

高崎経済大学同窓会事務局から

平成 17 年度は、全国 10 支部で同窓会支部総会が開催されました。

平成 18 年度においては、香川支部設立の他、現在下記の 17 支部で支部総会が開催予定になっております。支部総会の日程は決定次第、同窓会のホームページにて掲載しております。

お近くで、支部総会が開催された時には奮ってご参加ください。

平成 17 年度支部総会一覧		平成 18 年度開催予定地一覧			
支部名	開催日	支部名	開催予定日	支部名	開催日未定
桐生支部	平成17年5月21日(土)	桐生支部	4月22日(土)	東海支部	
福井支部	平成17年7月9日(土)	新潟支部	6月25日(土)	大分支部	
富山支部	平成17年7月31日(土)	富山支部	7月29日(土)	栃木支部	
札幌支部	平成17年10月14日(土)	三重支部	8月19日(土)	京滋支部	
関西支部	平成17年11月12日(土)	高知支部	8月26日(土)	岩手支部	
栃木支部	平成17年11月12日(土)	群馬支部	9月13日(土)	太田支部	
宮城支部	平成17年11月19日(土)	香川支部	10月7日(土)	広島支部	
広島支部	平成17年11月26日(土)	札幌支部	10月13日(土)	宮城支部	
大分支部	平成17年12月3日(土)	東京支部	10月20日(土)		
太田支部	平成18年2月18日(土)	関西支部	11月11日(土)		

大学広報

大学説明会

■平成18年度大学説明会

日 時:平成18年6月28日(水)午後2時～3時30分

場 所:事務棟3階 大会議室

出席者:校長・進路指導教諭 68人

■オープンキャンパス

日 時:平成18年7月15日(土)午前10時～16時

場 所:本学1号館・5号館・6号館・三扇会館等

出席者:900人

群馬県 61.7% 栃木県 15.5% 埼玉県 4.4% 長野県 3.5%
新潟県 3.1% 茨城県 2.2% 山梨県 2.0% 静岡県 1.3%
東京都 1.1% 福島県 1.1% 千葉県 0.7% 宮城県 0.6%
岩手県 0.4% 愛媛県 0.4% 大阪府 0.4% 富山県 0.4%
秋田県 0.2% 大分県 0.2% 京都府 0.2% 兵庫県 0.2%
広島県 0.2% 三重県 0.2%

経済学会

■平成18年度第1回学術講演会

日時:平成18年6月30日(金)午後2時20分～午後4時
場所:高崎経済大学 附属図書館ホール
講師:赤羽 隆夫(元経企事務次官)
演題:事実は理論に勝る一名探偵に学ぶ経済分析術—

■論集『高崎経済大学論集』第49巻 第1号発行

■平成18年度第2回学術講演会

日時:平成18年7月13日(木)午後2時20分～午後4時30分
場所:高崎経済大学 1号館111番教室
講師:奥寺 康彦
(横浜FC代表取締役社長・2006年WCドイツ大会解説者)
演題:夢を追いかけて

地域政策学会

■論集『地域政策研究』第9巻 第1号発行

■平成18年度第1回学術文化講演会

日時:平成18年6月19日(木) 午後2時20分～3時50分
場所:高崎経済大学 附属図書館
講師:岸 康彦(日本農業研究所理事・研究員)
演題:世界の食・地域の食

産業研究所

■第65回市民開放講演会

日時:平成18年7月4日(火) 午後3時～5時
場所:高崎商工会議所 大ホール(6F)
講師:松橋 公治(明治大学文学部教授)

演 題：地方中小企業集積地域の元気な企業群
—それを支えるソフトなインフラとしてのネットワークと「学習」—

地域政策研究センター

- 地域政策研究研修事業 ・自治体政策評価演習の開催
- 情報提供事業 ・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」

附属情報センター

■教育用コンピュータ設置状況(平成18年6月1日現在)

1号館3階131教室および135教室	パソコン	82台(41, 41)
3号館2階321教室	パソコン	57台
3号館3階331教室および332教室	パソコン	81台(41, 40)
6号館4階641教室および644教室	パソコン	122台(61, 61)
6号館4階642教室および643教室	パソコン	82台(41, 41)
図書館4階コンピュータ室	パソコン	28台
大学院棟	パソコン	40台
合 計		492台

■学生向け講習会の開催等

- ・高経ネット利用許可講習会の開催
内 容：高経ネットの利用方法やネットワーク利用のマナーについて学習する
回 数：新入生対象……計19回(18年度)
2年生以上……計5回(18年度)
受講者数：901人
- ・パソコン基本操作講習会の開催
内 容：Wordを使った文字入力・文書編集・ファイルの保存方法等の基本操作を学習する
回 数：計5回(18年度)
- ・Web検索・Webメール基本操作講習会の開催
内 容：Internet Explorerを使って、Web検索の仕方およびWebメールについて学習する
回 数：計5回(18年度)
- ・「附属情報センターパンフレット」「コンピュータ・ネットワーク利用の手引き」を改定し、新入生に配布(18年度)

本学図書館前噴水付近に、かるがもの親子が出現いたしました。母親を先頭に、列になって歩く姿は愛らしく、とても微笑ましい光景でした。

現在は、構内から姿を消してしまいましたが、きっと元気に成長していることでしょう。



たかけい学報
発行
企画・編集

第75号
平成18年8月25日
高崎経済大学広報委員会
〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300
電話 (027) 343-5417(代) FAX (027) 343-4830
IP電話 050-5501-5777
URL : <http://www.tcue.ac.jp>



(第33回鶴鷹祭)